

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：商工費 目：工鉦業振興費

事業名【新】スタートアップ支援コンソーシアム事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部商業・金融課資金融資係 電話番号：058-272-1111(内3647)

E-mail：c11363@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 21,915 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

| 区 分 | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | | | | |
|-----|--------|------------|------------|------------|------------|-----|-----|-----|------------|
| | | 国 庫 支出金 | 分担金 負担金 | 使用料 手数料 | 財 産 収 入 | 寄附金 | その他 | 県 債 | 一 般 財 源 |
| 前年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 要求額 | 21,915 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 21,915 |
| 決定額 | | | | | | | | | |

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

経済が低迷し、人口減少・少子高齢化が本格化する中であっても、地域の活力を失うことなく持続可能な「清流の国ぎふ」づくりを進めるには、県の雇用・所得・財政を支える新たな産業の芽を生み出す必要がある。

国の骨太の方針2022においても、重点投資分野の一つとしてスタートアップを掲げ、人材育成、公共調達の活用、スタートアップ・エコシステムの形成等を掲げている。

県では、金融機関や大学、産業支援機関等とスタートアップ支援の情報共有を行う岐阜県スタートアップ支援ネットワーク会議を開催してきた。

令和5年度よりはスタートアップ・エコシステムの形成を目指すため、産金官学等によるスタートアップのネットワークを形成するためコンソーシアムを形成し、合わせて同コンソーシアムでスタートアップに対する支援を行う。

(2) 事業内容

産金官学等のスタートアップに関するネットワークを作るとともに、スタートアップに関する事業を実施するコンソーシアムを設置し、岐阜県に事務局を設ける。

コンソーシアムでは、スタートアップ・エコシステム形成を目的に以下の事務等を実施する。

○スタートアップコンソーシアム

産金官学等のスタートアップに関するネットワークを作るとともに、スタートアップの育成等に関する事業を実施するコンソーシアムを設置する。

○スタートアップ交流会

スタートアップ同士がつながる場を設ける。その際、先輩起業家やVC等を講師として招きスタートアップの集客及び育成にもつなげる。

○ぎふアントレプレナーシップ教育事業業務

起業に興味がある中・高校生を対象に、スタートアップを経験できるワークショップを3圏域で計6回開催する。開催にあたっては起業に対する気運醸成も図る。

○スタートアップサポーター支援事業費補助金

県内でピッチコンテストやセミナー等、スタートアップの成長につながる関連イベントを開催する者へ補助することで、スタートアップの育成と気運の醸成を図る。

(3) 県負担・補助率の考え方

県内の起業・スタートアップを支援し、新産業・新サービスの創出、新たな地域経済の担い手を創出することは県経済の振興につながるものであり、また、民間主導によるコンソーシアムの設置も考えられないため、県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算 内訳 (単位: 千円)

| 事業内容 | 金額 | 事業内容の詳細 |
|----------|--------|----------------------|
| 委託料 | 14,087 | アントレプレナーシップ教育事業 |
| 補助金 | 6,000 | スタートアップサポーター支援事業費補助金 |
| 報償費 | 288 | 講師謝金 |
| 旅費 | 627 | 講師費用弁償、打ち合わせ業務旅費 |
| 需用費 | 106 | 消耗品等 |
| 役務費 | 153 | 通信費等 |
| 使用料及び賃借料 | 654 | 会場使用料 |
| 合計 | 21,915 | |

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 国・他県の状況

岸田政権は「経済財政運営と改革の基本方針 2022」の重点投資分野の一つとしてスタートアップを掲げ、人材育成、公共調達の活用、スタートアップ・エコシステムの形成等を掲げている。

中部経済産業局では、令和元年7月から岐阜、愛知、三重、名古屋、浜松や経済団体、大学等が参加しベンチャー・スタートアップ支援体制の強化や地域を挙げた協業加速化に取り組むため、Top Streamプロジェクト連携会議を主宰している。

愛知県では平成30年4月に、大学、金融機関、民間企業、経済団体等関係機関の参画を得て、「Aichi-Startup推進ネットワーク会議」を発足し、「あいちスタートアップ・エコシステム」を推進している。名古屋市は「スタートアップ・エコシステム グローバル拠点都市」として認定を受けた。両地域が共通の基盤である産業基盤と地域間の密接なつながりを生かし、世界に伍するグローバルなスタートアップ・エコシステム形成を目指している。

また、他県でもスタートアップ支援拠点で交流会等を開催し、スタートアップ同士がネットワークを作る場を設けているほか、学生を対象としたアントレプレナーシップ教育を実施し、起業家の育成と、起業の機運醸成を図っている。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
- ・定期的に会議を開催し、金融機関や大学、産業支援機関、県等が連携することで、より一体的で効果のあるスタートアップ支援の展開を図る。
- ・創業間もない起業家が、先輩経営者からアドバイスを受けたり、出会える場を設けることにより、起業家の成長を支援する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

| 指標名 | 事業開始前 (R4) | R5年度 目標 | R6年度 目標 | R7年度 目標 | 終期目標 (R9) | 達成率 |
|------------------|---------------|------------|------------|------------|--------------|-----|
| ①（仮称）プラ イム認定数 | 0 | 3 | 8 | 15 | 35 | |

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

| | |
|---------------|--|
| 令和 3 年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・スタートアップ支援ネットワーク会議は全3回開催し、各支援機関の起業支援事業について今年度実施及び来年度実施予定の情報共有等を行った。 ・スタートアップカフェは2回開催し、計27名に参加いただき、起業家との交流を実施した。 |
| 令和 5 年度 | <p style="color: red;">令和7年度当初予算にて追加</p> <hr/> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p> |
| 令和 6 年度 | <p style="color: red;">令和8年度当初予算にて追加</p> <hr/> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p> |

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

| | |
|--|--|
| <p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない</p> | |
| (評価) | |
| <p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない</p> | |
| (評価) | |
| <p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている</p> | |
| (評価) | |

(今後の課題)

| |
|--|
| <p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 国の動向や他県(愛知県)や中部経済連合会などの先進的な取組みについても参考にしながら、支援のあり方を検討する。</p> |
|--|

(次年度の方向性)

| |
|---|
| <p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 県内の起業・スタートアップを支援し、新産業・新サービスの創出、新たな地域経済の担い手の創出につなげる連携を図ることは、県経済の振興につながるものであり、継続して事業に取り組んでいく。</p> |
|---|

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

| | |
|------------------------------------|--|
| <p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p> | |
| <p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p> | |